

# 論文必勝法 ～傾向と対策～

パネル討論：

## 論文誌編集の立場からの 論文の書き方と査読の仕方

2012年3月7日

東京工業大学

横田 治夫

# 論文誌ジャーナル編集委員会

- 学会のフラグシップ論文誌の編集を担当
  - 情報処理学会論文誌 (IPSI Journal)
  - Journal of Information Processing (JIP)
    - \*トランザクションの編集委員会は別
- 委員長: 横田 (東工大)
- 副委員長: 串田 (日本IBM)
- 4グループに分かれて論文の編集
  - 基盤グループ
  - ネットワークグループ
  - 知能グループ
  - 情報システムグループ

# 編集委員会の思い

- 質の良い論文をより多く採録
  - 研究分野を盛り上げたい
- 例えば
  - 折角の研究内容なのだから、こう書いてあれば採択されるのに
  - このような査読報告書にしてくれれば、再投稿される論文がもっとよくなるのに

# 編集委員会の取り組み

- べからず集の作成
  - 著者用、査読者用、メタ査読者用
    - 査読者用、メタ査読者用は既にWebで公開
    - 著者用はLaTeXサンプルファイルのチェックリストとして
- 特集号の積極的な企画
- 推薦論文の制度の整備
- 編集委員の合宿
- A4縦型フォーマットへの移行
- JIP のインパクトファクタ取得に向けて
  - JIP の季刊化
- 本セッションもその一環



提言/プレスリリース

学会誌「情報処理」

論文誌

イベント

ITフォーラム

研究会

会員サービス

電子図書館

図書販売

教育・人材育成

学会について

情報規格調査会

参加する

各種イベントや研究発表、  
論文投稿のご案内

購入する

最新情報満載の機関誌や  
書籍のご提供

入会する

入会申込み方法と会員  
サービスのご紹介など

### トピックス

RSS 一覧

- 2012年03月06日 論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集 論文募集
- 2012年03月06日 論文誌「パズルの数理」特集 論文募集
- 2012年02月28日 【プレスリリース】「震災復興デザインコンテスト」受賞発表
- 2012年02月28日 【プレスリリース】情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式
- 2012年02月21日 論文誌「ソフトウェア工学」特集 論文募集

C/C++, Fortran アプリを高速化  
インテル® Parallel Studio XE

就職情報



ホーム > 論文誌

## 論文誌

- ▶ 提言/プレスリリース
- ▶ 学会誌「情報処理」
- ▶ **論文誌**
  - ▶ 論文誌ジャーナル
  - ▶ トランザクション
  - ▶ デジタルプラクティス
  - ▶ Journal of Information Processing (JIP)
  - ▶ IMT
  - ▶ IPSJ Digital Courier (IPSJ-DC)
- ▶ イベント
- ▶ ITフォーラム
- ▶ 研究会
- ▶ 会員サービス
- ▶ 電子図書館
- ▶ 図書販売
- ▶ 教育・人材育成
- ▶ 学会について
- ▶ 情報規格調査会

**論文誌ジャーナル**  
IPSJ JOURNAL

論文募集、投稿のご案内、編集委員会からのお知らせ、各種提案について、編集作業マニュアルなどについてのご案内です。

**Journal of Information Processing**  
JIP

論文募集、投稿のご案内、編集委員会からのお知らせ、編集作業マニュアルなどについてのご案内(英文)です。

**論文誌 (トランザクション)**  
TRANSACTION

論文誌(トランザクション)の概要・投稿・購読についてのご案内です。

**Information and Media Technologies**  
IMT

情報科学技術情報を世界に向けて合同で発信するために編集運営会議(「Information and Media Technologies編集運営会議」)に参加する6学会が刊行した英文論文のリプリントを公開しています。

**IPSJ Digital Courier**

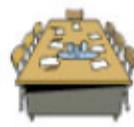
編集作業マニュアル(編集委員、メタ査読者、査読者のためのページ)

論文誌ジャーナル編集細則 

査読のための PRMS 手引き   
【日本語版】

べからず集   
【日本語版】

論文誌ジャーナル編集の手引き 

処置記録作成の手引き   
【メタ査読者の方へ】

論文査読の手引き   
【論文の査読者の方へ】

テクニカルノート査読の手引き   
【テクニカルノートの査読者の方へ】

論文誌ジャーナル編集委員会  
開催日程 

遅延論文の督促ルール 

ユーザマニュアル(メタ査読者編、査読者編)をダウンロードすることができます。

べからず集(メタ査読者編、査読者編)をダウンロードすることができます。

論文誌ジャーナル編集委員の役割について

処置記録の作成について

査読報告書の書き方、論文査読に対する基本的な考え方、論文査読のプロセスについて

査読報告書の書き方、テクニカルノート査読に対する基本的な考え方、テクニカルノート査読のプロセスについて

bekarazu\_j\_for\_reviewer.pdf - Adobe Acrobat Pro

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

作成 ▾ | [Icons: Save, Print, Mail, Settings, Comment, Highlight, Erase, Copy, Paste]

[Icons: Home, Back, Forward, Search, Hand, Rotate] | 1 / 3 | [Icons: Previous, Next] | 104% | [Icons: Save, Print] | ツール 注釈

## べからず集 (Ver.1.2)

査読者編	For Reviewers
<p><b>基本『石を拾うことはあっても玉を捨てることなかれ』</b></p> <p>(1) 完成度90%を求めるのではなく60%でも採録を考える(優れた論文のみを載せるのではなく会員に有用な情報を提供し研究発表の場を提供する論文を載せる)。</p> <p>(2) 減点法ではなく加点法で査読する。たとえば、新規性と有用性のうちどちらかが高く読者にとって有益と判断される場合、あるいは現時点では有用性の判定が困難で、評価を読者あるいは将来に任せた方が良いと考えられる場合には、採録とする方針で考える。</p> <p>(3) 査読者の判断を超えた論文が研究の発展に大きな影響を与えることもある。</p> <p>(4) 面白いか面白くないかは読者が判断する。</p> <p>(5) 論文を採録するための条件を列挙するかたちで、判定をする。</p> <p>(6) 従来提案されていないと判断できる新しいアイデアを提案しているか、既存アイデアを組み合わせたものでも自明ではない新しい利用法を提案しているか、あるいは技術的に新しい知見を与えるデータを提示しているか等の観点から評価する。</p> <p>(7) 目的が一緒でも実現手段が違う提案を、「新規性がない」と判断</p>	<p><b>"Do not throw away gems even if you can pick up stones (Do not reject good papers even if you can pick up bad papers)"</b></p> <p>(1) Consider to accept papers with 60% completion rate and do not require them with 90% completion rate; publish not only excellent papers but also papers that provide valuable information to members.</p> <p>(2) Review papers in not point-deduction scoring system but point-addition one. For example, consider accepting a paper when its novelty or usefulness seems to be high and valuable to readers, or, when it is hard to evaluate its usefulness at that time and would be better to leave its evaluation to readers or future.</p> <p>(3) Papers beyond reviewers' decisions might have major impacts on researches.</p> <p>(4) Readers judge whether or not papers are interesting.</p> <p>(5) Judge by listing up acceptance conditions.</p> <p>(6) Evaluate papers from the viewpoint of whether the papers propose new ideas, or propose new and nontrivial usage methods that combine conventional ideas, or indicate data showing newly findings.</p> <p>(7) Do not judge that the novelty of a proposal with different</p>

jsample.pdf - Adobe Acrobat Pro

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

作成 ▾ | 保存 | 印刷 | 送信 | 設定 | コメント | 手書き | 削除 | 移動 | 複製

6 / 9 | 104% | ツール 注釈

### 5.1 書き方の基本

- 研究の新規性、有用性、信頼性が読者に伝わるように記述する。
- 読み手に、読みやすい文章を心がける（内容が前後する、背景・課題の設定が不明瞭などは読者にとって負担）。
- 解決すべき問題が汎用化（一般的に記述）されていないのは再考を要する（XX 大学の問題という記述に終始）。あるいは、（単に「作りました」だけで）解決すべき問題そのものの記述がないのは再考を要する。
- 結論が明確に記されていない、または、範囲、限界、問題点などの指摘が適切ではない、または、結論が内容にそったものではないものは再考を要する。
- 科学技術論文として不適当な表現や、分かりにくい表現があるのは再考を要する。
- 極端な口語体や、長文の連続などは再考を要する。
- 章、節のたて方、全体の構成等が適切でない文章は再考を要する。
- 文中の文脈から推測しないと内容の把握が困難な論文にしない。

わめて貧弱なのは再考を要する。

### 5.3 書き方に関する具体的な注意

- 和文標題が内容を適切に表現していないのは再考を要する。
- 英文標題が内容を適切に表現していない、または英語として適切でないのは再考を要する。
- アブストラクトが主旨を適切に表現していない、または英文が適切ではないのは再考を要する。
- 記号・略号等が周知のものでなく、または、用語が適切でなく、または、図・表の説明が適切ではないのは再考を要する。
- 個人的あるいは非常に小さなグループ／企業だけで通用するような用語が特別な説明もなしに多用されているのは再考を要する。
- 図表自体は十分に明確ではない、または誤りがあるのは再考を要する。
- 図表が鮮明ではないのは再考を要する。
- 図表が大きさ、縮尺の指定が適切でないのは再考を要する。

© 2012 Information Processing Society of Japan

6

# 本パネルの目的

- 論文誌編集委員の立場から見た論文の書き方や査読の仕方
  - 各グループの主査に熱く語って頂く
- 論文必勝法に関する議論を深めたい
  - フロアと一緒に

# パネリストのご紹介（敬称略）



- 基盤グループ主査  
－ 定兼 邦彦（国立情報学研究所）



- ネットワークグループ  
－ 齋藤 孝道（明治大学）



- 知能グループ  
－ 佐藤 誠（東芝）



- 情報システムグループ  
－ 笹嶋 宗彦（大阪大学）

# 各パネリストからメッセージ



- 定兼先生
  - 必要最低限クリアして欲しい水準



- 斉藤先生
  - 困った／良いメタ査読者・査読者



- 佐藤様
  - 特許と論文審査



- 笹島先生
  - 学際的論文を通すには

# フロアとともに

- パネリストに対する質問
- 学会は論文誌の書き方の指導をすべきか
- 編集委員会に期待すること